

地域に愛される公園づくりを考えよう！

本日の予定

1. 地域に愛される公園づくりとは
2. 公園の現状と課題
3. 豊川市公園施設等利活用・適正化計画の概要
4. 岡本先生の講話
5. 地区の再編計画づくりの進め方
6. 臼井先生の講話
7. 質疑応答



地域に愛される公園づくり、ってなに？

1. 地域に愛される公園づくりとは

- **小学校区内**にある身近な公園について、地元の皆さんと公園の再編計画案づくりを行うものです。
- 計画段階から地元の皆さんと検討することにより、公園への愛着を高め、公園利用の活性化につなげたいと考えています
- 計画策定後は、翌年から概ね2カ年で再編整備を行います



なぜ今、公園の再編が必要なのか？

施設の老朽化と安全の確保

多くの公園が整備から50年以上経過し、遊具や設備の傷みが進んでいます。安心して子どもたちが遊べる環境を整えるため、安全で利用しやすい公園に見直す必要があります。

多様化する地域ニーズへの対応

今の公園は、「子どもの遊び場」だけでなく、高齢者の方々の健康維持、子育て世代の交流、災害時の拠点など、多様な役割が求められています。

利用しやすい公園、地域に愛される公園

公園再編がもたらす4つの住民メリット



安全性向上

老朽化した遊具の対応や適正な樹木管理で、誰もが安心して利用可能になります。



多世代交流

子どもからシニアまで、自然と会話が生まれる交流拠点を作り出します。



防災力強化

災害時の避難場所を維持し、地域の「守り」を高めます。



快適な維持管理

見通しを良くし、清掃や点検を徹底。明るく清潔な環境を維持します。

公園の再編とはどういうこと？

みんなが使いやすい公園になるように、時代のニーズに合わせ、役割を「みなおし」たり、「まとめる」ことです。

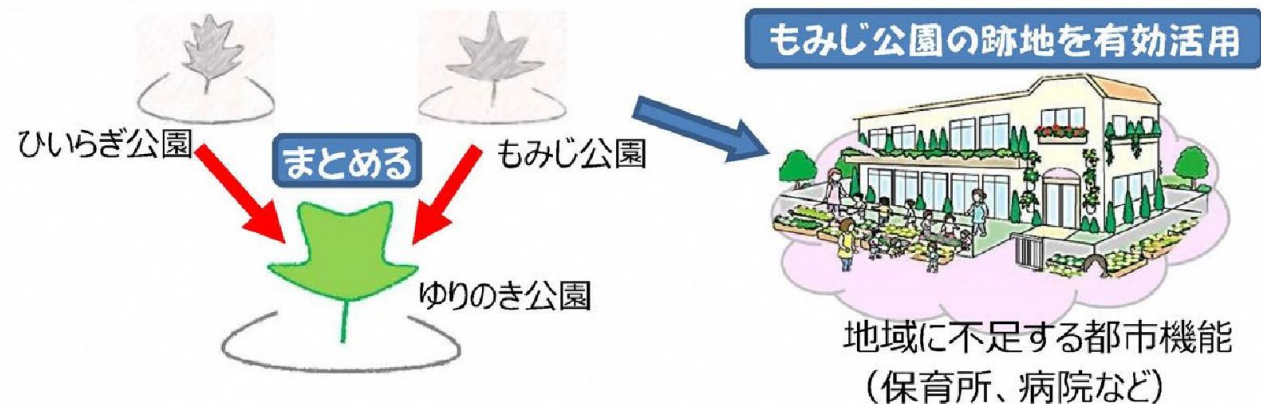
〔機能の再編〕

○みんなが使いやすい公園になるように、役割を「みなおす」。



〔配置の再編（集約化）〕

○地域に親しまれ、使われる公園となるように、公園を「まとめる」。



豊川市の公園は、どういう状況なの？

2. 公園の現状と課題

●データでみる「公園の現状と課題」①

■桜木小学校区の

現状と課題

- ・古い公園が多く、施設が老朽化

⇒維持管理費は年々増加。

- ・同種の遊具が配置された公園が複数ある

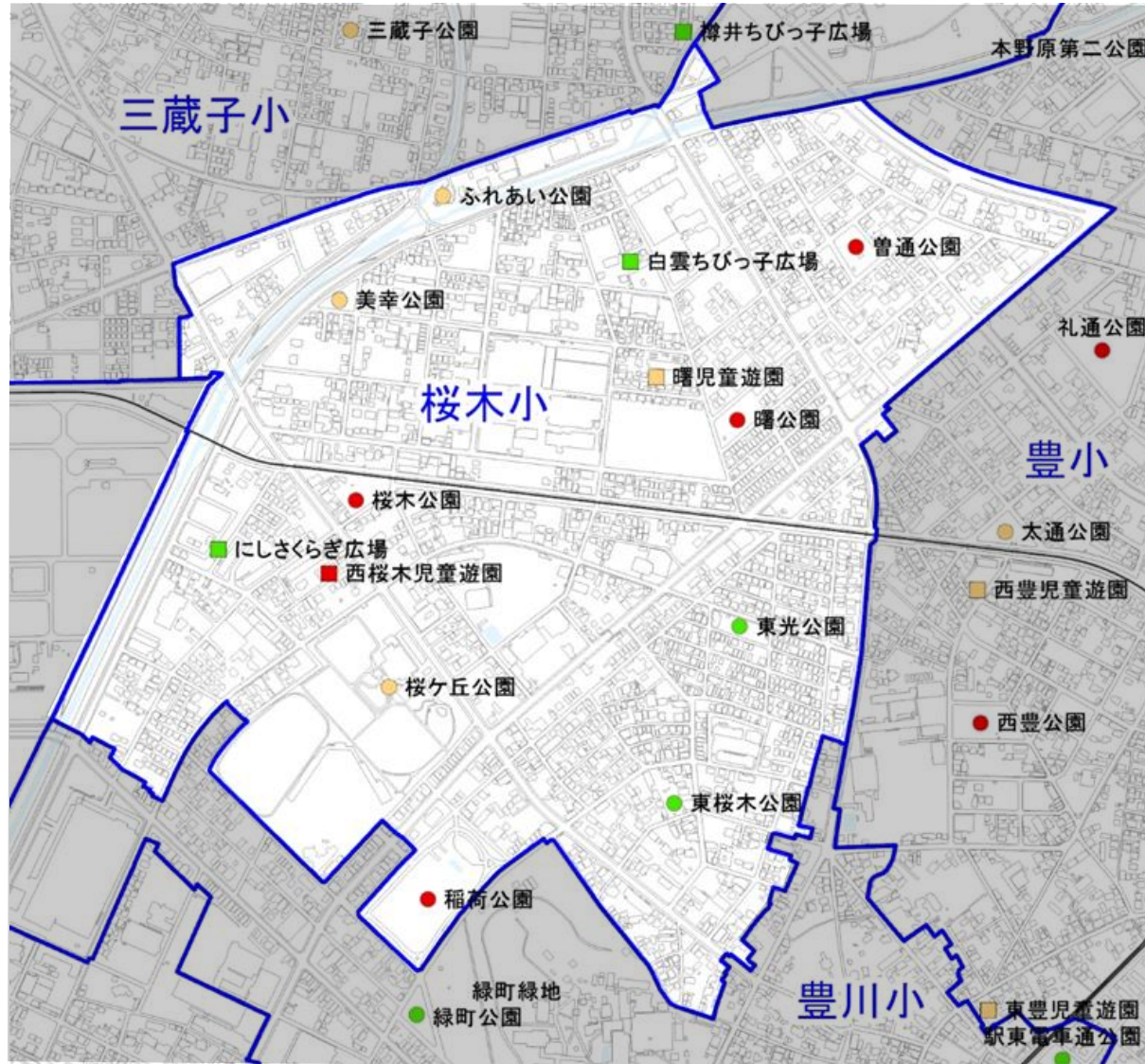
⇒利用者のニーズに対応しきれない

- ・公園の誘致圏重複率は大半が50%を超えている

⇒近接する公園が多い



「量より質」への転換
が求められている



公園名	面積(m ²)
美幸公園	1,580
曙公園	3,054
桜木公園	2,092
東桜木公園	1,127
東光公園	2,000
曾通公園	2,804
ふれあい公園	1,282
稲荷公園	24,535
桜ヶ丘公園	40,809
西桜木児童遊園	617
曙児童遊園	345
白雲ちびっ子広場	257
にしさくらぎ広場	232

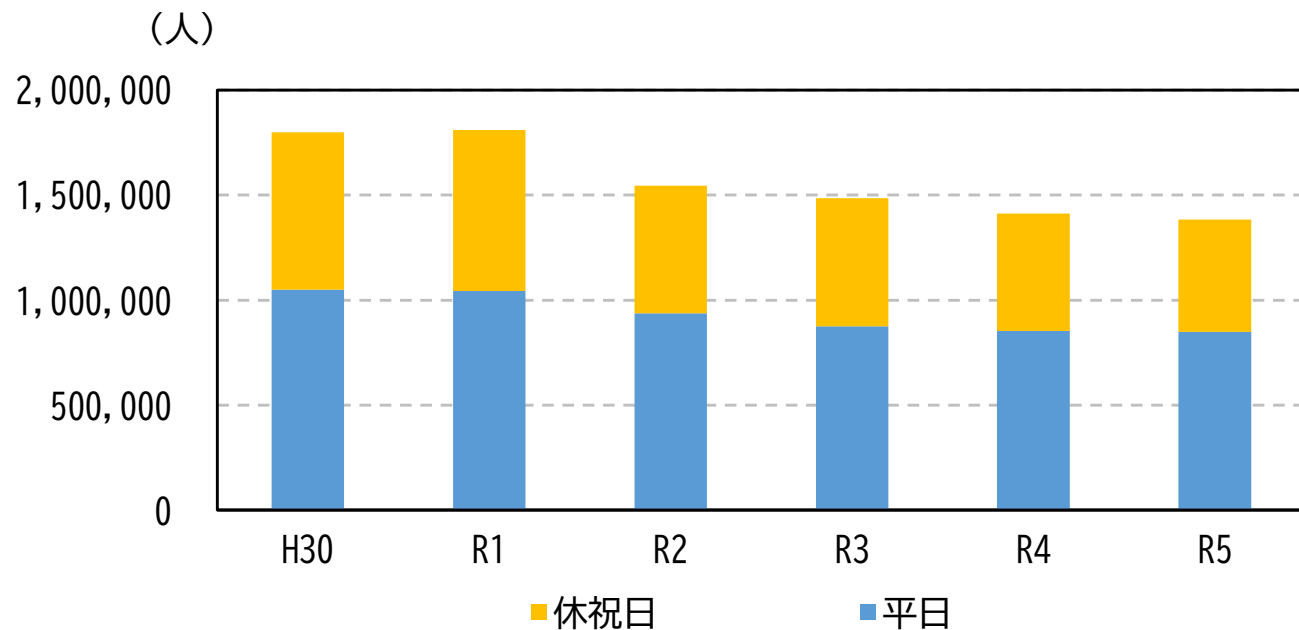
経過年数

- 都市公園-30年未満
- 都市公園-30年以上50年未満
- 都市公園-50年以上経過
- その他-30年未満
- その他-30年以上50年未満
- その他-50年以上経過

●データでみる「公園の現状と課題」 ②

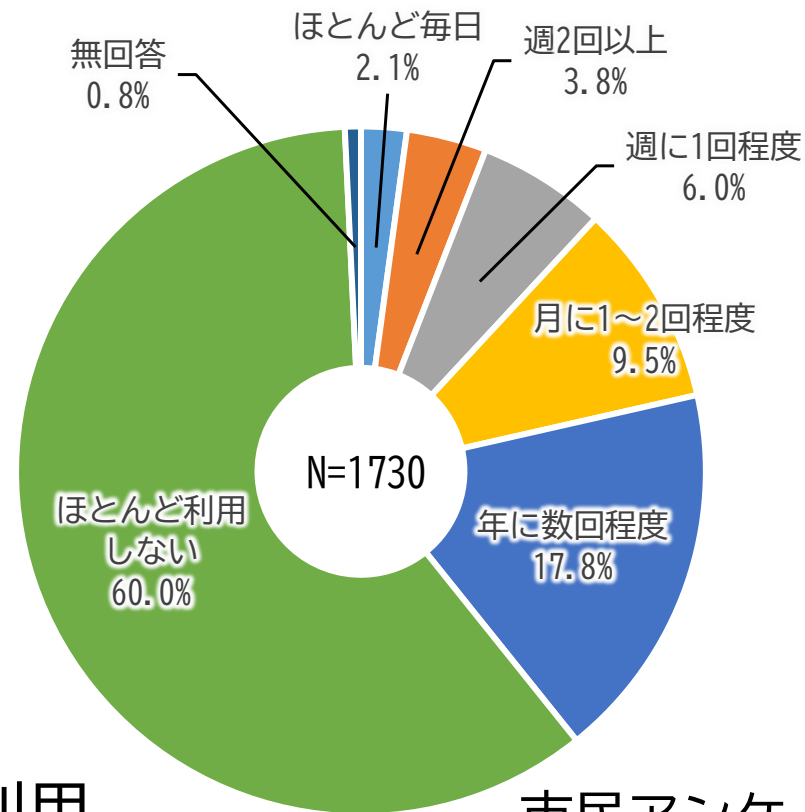
■公園利用者

⇒年々減少傾向



■身近な公園の利用頻度

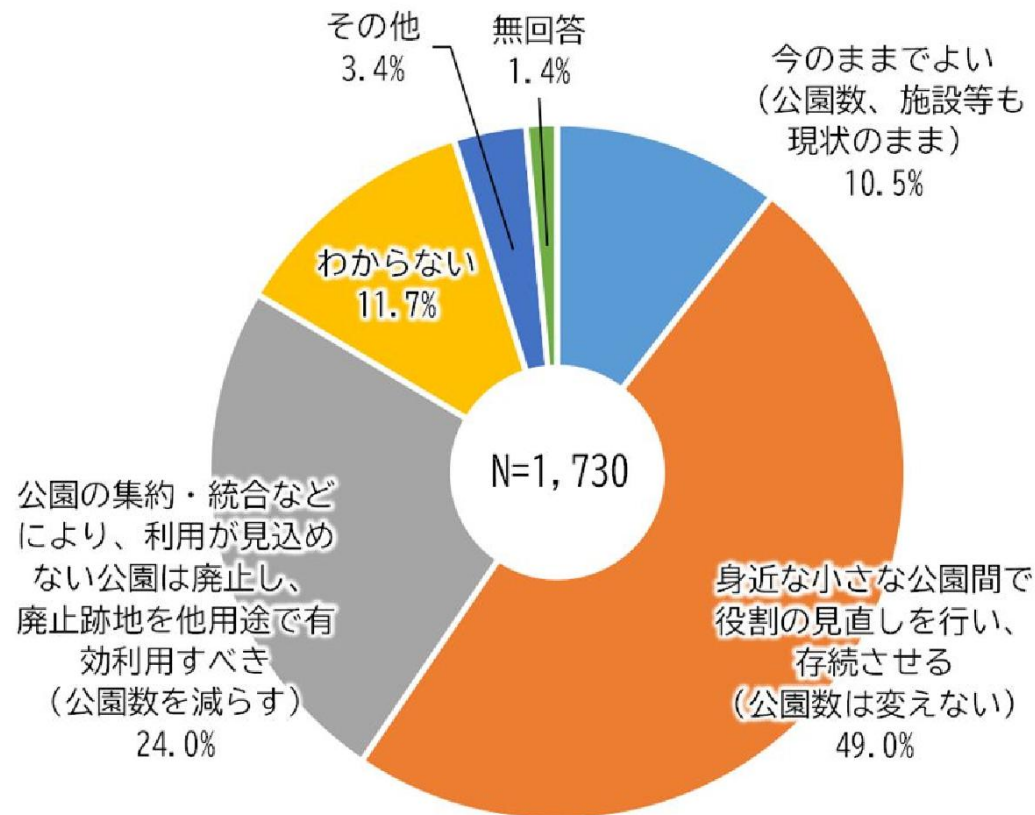
⇒ほとんど利用しない約60%



公園利用者は年々減少し、身近な公園をほとんど利用しない人は約6割です。子どもの成長段階やライフスタイルの変化などに対応した公園の見直しが必要です。

●データでみる「公園の現状と課題」 ③

■今後の公園のあり方の意向

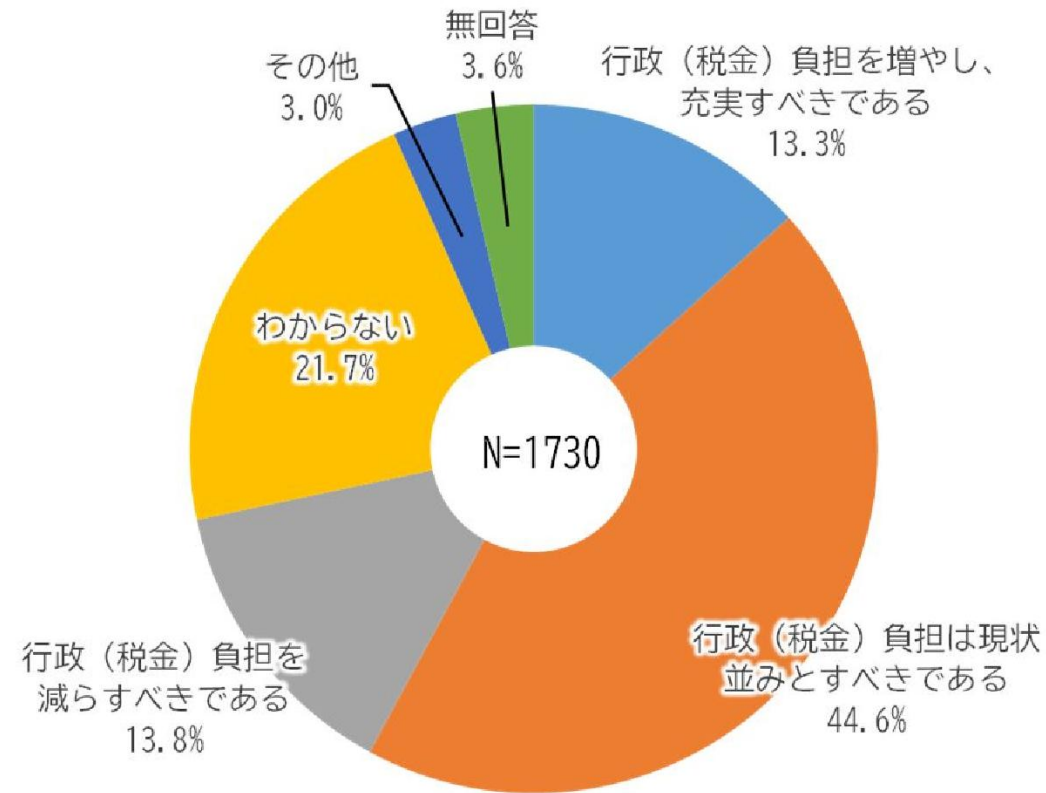


市民アンケート

利用されていない公園のあり方は、「現状のままでよい」は1割、7割を超える多くの人が機能見直しや集約・統合等による有効活用を求めています。

●データでみる「公園の現状と課題」 ④

■行政負担の考え方について



市民アンケート

行政負担の考え方として、現状並みや減らすべきとの回答が約6割であり、行政負担が増えないことを多くの人が求めています。

豊川市の公園施設等利活用・適正化計画、

ってなに？

3. 豊川市公園施設等利活用・適正化計画の概要

- ・令和8年3月に市全体の公園の再編方針を定める計画を策定

●目指すべき姿

地域に愛される “暮らしを豊かにする空間”
としての公園の再生

●基本目標

利活用

魅力ある地域の公園

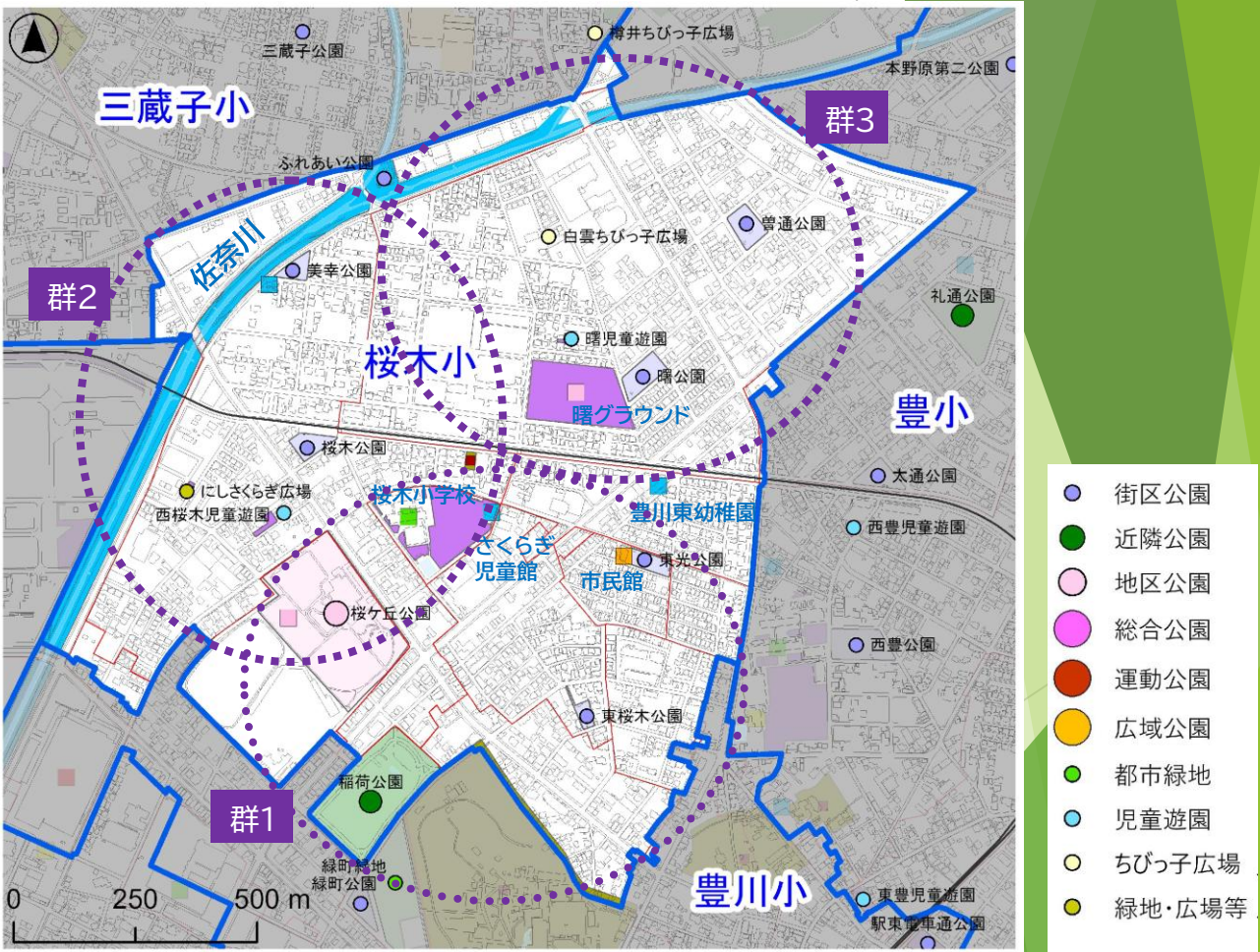
適正化

持続可能な公園



- ・ 検討は、概ねの徒歩圏を想定した「群（ぐん）」の単位ごとで、身近な小さな公園を中心に行います

身近な 小さな 公園	群 1	東光公園 東桜木公園
	群 2	美幸公園 桜木公園 ふれあい公園 西桜木児童遊園 にしさくらぎ広場
	群 3	曙公園 曾通公園 曙児童遊園 白雲ちびっ子広場
大きな 公園	共通	桜ヶ丘公園 稲荷公園



- ・ **群（ぐん）** のなかで、公園の役割を「みなおす」、「まとめる」ことで、各公園の特徴をいかしたまち全体の魅力アップをしていきます。

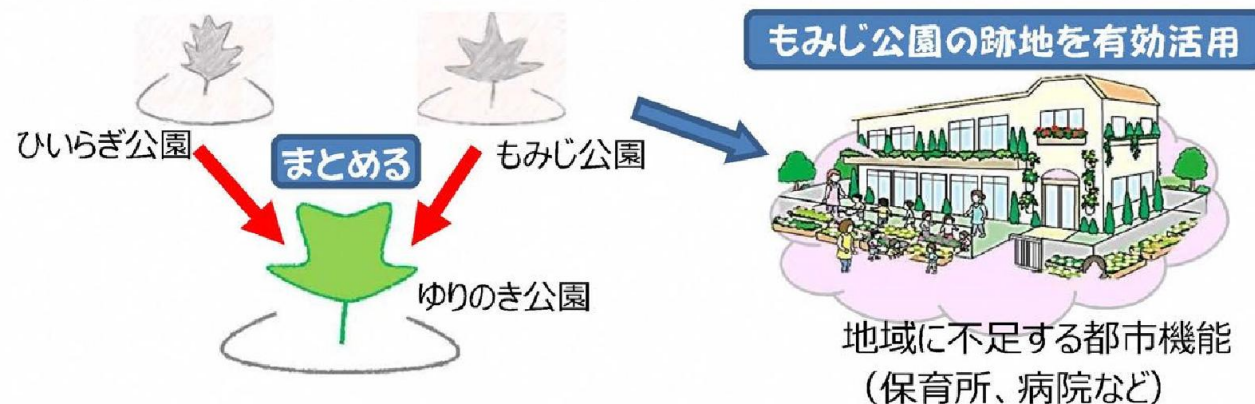
【機能の再編】

○みんなが使いやすい公園になるように、役割を「**みなおす**」。



【配置の再編（集約化）】

○地域に親しまれ、使われる公園となるように、公園を「**まとめる**」。



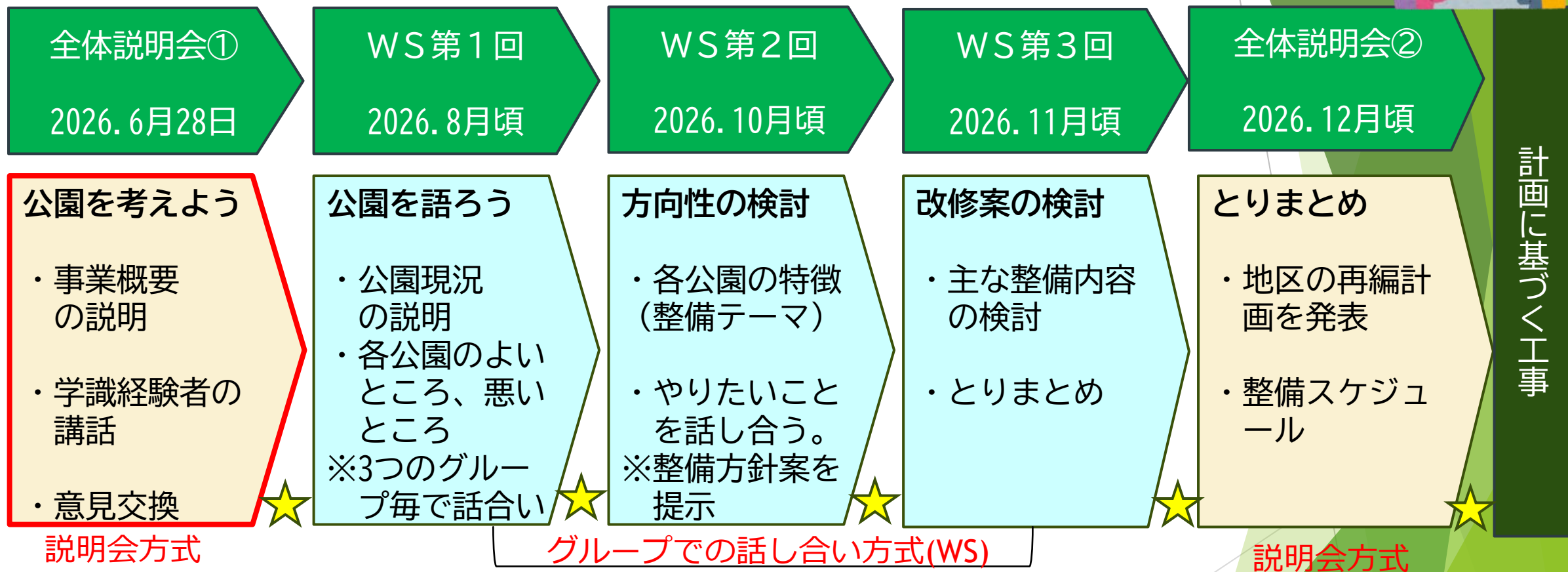
4. 岡本先生の講話

どうやって地区で検討していくの？

5. 地区の再編計画づくりの進め方



- ・全5回の説明会とワークショップを、約半年間かけて開催します



地区アンケート実施

計画に基づく工事

●ワークショップの内容は、どうやって知ることができるの？

- ・各会の終了後 ★ に「かわら版」を作成し、地区の回覧でお配りします
また、市のホームページ、SNS等で広く発信します

ワークショップ、ってなに？

ワークショップとは

- ▶ ワークショップとは、**みんなで集まって、知恵を出し合ったり、グループで作業しながら、一つのものを作り上げていく**作業のことをいいます。

今回のワークショップは、

**校区内の公園をそれぞれ、
どんな公園にしたいか**

をみなさんで考えます！

ワークショップの様子



〇〇公園は
河川敷に近い
から静かな
公園にしたい

〇〇公園は
走りまわって
遊べる広場が
ほしい

〇〇公園は
市民館が近くにある
から、地域活動の拠
点にしたい



6. 臼井先生の講話

7. 質疑応答

8. 次回の予定

第1回
全体説明会
本日

テーマ【公園づくりを考えよう！】

- ・ 事業概要の説明
- ・ 学識経験者の講話
- ・ 質疑応答

第1回
ワーク
ショップ

テーマ【公園を語ろう（問題の共有）】

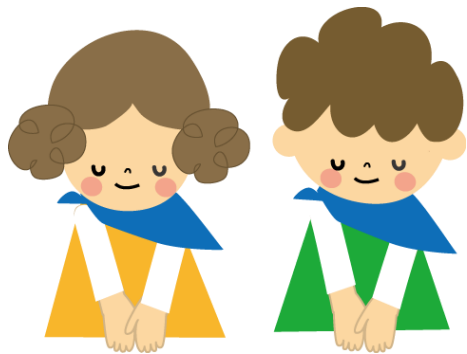
- ・ 公園現況の説明
- ・ 各公園のよいところ、悪いところ
※3つのグループ毎で話し合い

終わりのあいさつ

次回ワークショップ

時期：8月中

場所：桜ヶ丘ミュージアム（予定）



おつかれさまでした
次回もご協力お願いします。